



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 神東塗料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4615 URL <http://www.shintopaint.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉村 隆平
 問合せ先責任者(役職名) 取締役(経理担当) (氏名) 高田 文生 (TEL) 06-6429-8474
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,109	△7.1	126	△9.1	169	△21.0	64	△29.1
28年3月期第1四半期	5,497	△0.9	139	255.2	214	123.1	91	5.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △9百万円(—%) 28年3月期第1四半期 112百万円(△3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.09	—
28年3月期第1四半期	2.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	35,624	16,268	43.9	504.35
28年3月期	35,955	16,458	44.0	510.12

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 15,624百万円 28年3月期 15,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	2.1	450	18.1	350	△22.2	150	△26.0	4.84
通期	23,500	2.7	1,150	13.4	1,250	13.7	700	53.9	22.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期1Q	31,000,000株	28年3月期	31,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	20,344株	28年3月期	20,344株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期1Q	30,979,656株	28年3月期1Q	30,983,473株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが手続中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急速な円高の進行や、中国の景気減速及び新興国の景気減速への警戒感から、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおきましてはこうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業のさらなる展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,109百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。損益面では、営業利益は126百万円（前年同四半期比9.1%減）、経常利益は169百万円（前年同四半期比21.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は64百万円（前年同四半期比29.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(塗料事業)

アルミ電着塗料は、国内においては住宅着工件数が回復傾向にあり、主力ユーザー向け出荷が堅調に推移するとともに、新規ラインにも納入を開始しました。しかしながら中国やタイ向けの輸出が減少したため、売上は減少いたしました。

工業用電着塗料は、主力ユーザーである電設資材及びハウスメーカー向け出荷は順調に推移いたしました。熊本地震等による一部ユーザーにおける生産ラインの停止の影響もあり、売上は減少いたしました。

粉体塗料は、鋼製家具向けに主力ユーザーの生産調整がありましたが、他の主力ユーザー向けの出荷が順調に推移したため、売上は増加いたしました。

工業用塗料は、形鋼ユーザー向け出荷が好調を維持し、ゴルフボール向けの需要も復調しましたが、一部の主力ユーザーでの生産調整があり、売上はほぼ前年同四半期並みとなりました。

建築塗料は、新製品を投入した大手ユーザー向けに回復の兆しはあるものの、ビル等の大型物件の獲得が東京地区を中心に低調に推移したことや、小規模物件の需要が伸びなかったことに加え、工事も不振であったことから、売上は減少いたしました。

防食塗料は、新設橋梁、民間需要ともに西日本地区を中心に好調に推移し、特に四国地方の主力ユーザーの運搬機需要の伸びが大きく寄与したこともあり、売上は増加いたしました。

道路施設用塗料は、全国的に新設及び補修の舗装工事減のため、カラー舗装及びすべり止め舗装工事が伸びなかったことに加え、昨年好調であった段差修正材も維持補修関係の発注遅れにより不振であったため、売上は減少いたしました。

軌道材料製品は、主力ユーザーにおいて昨年8月に発生した事故の影響で、スラブ補修材の出荷が大幅に減少したことに加え、北海道地区での他社との競合もあり、売上は減少いたしました。

自動車用塗料は、主力ユーザー向けの出荷が前年に引き続き好調でしたが、熊本地震による影響等により生産ラインが一時ストップしたユーザーもあり、売上は減少いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は4,711百万円（前年同四半期比7.5%減）、経常利益は170百万円（前年同四半期比20.5%減）となりました。

(化成品事業)

受託生産している化成品事業の売上高は398百万円（前年同四半期比1.5%減）、経常損失は0百万円（前年同四半期は0百万円の経常利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が278百万円、投資有価証券が77百万円減少したこと等により35,624百万円(前連結会計年度末比330百万円減)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が176百万円、賞与引当金が131百万円減少し、短期借入金及び長期借入金が100百万円増加したこと等により19,356百万円(前連結会計年度末比141百万円減)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が90百万円、為替換算調整勘定が61百万円、その他有価証券評価差額金が27百万円及び非支配株主持分が10百万円減少したこと等により16,268百万円(前連結会計年度末比189百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結業績予想につきましては、インドネシアの子会社において為替差損が発生した影響等により、平成28年5月13日に発表した予想を下回る見通しです。

以上を踏まえ、前回発表した第2四半期業績予想を次のとおり修正いたします。

平成29年3月期第2四半期連結業績予想数値(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
前回発表数値(A)	11,500	450	500	300
今回修正予想(B)	11,500	450	350	150
増減額(B-A)	0	0	△150	△150
増減率(%)	0.0	0.0	△30.0	△50.0

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,380	2,394
受取手形及び売掛金	7,619	7,340
商品及び製品	1,857	1,865
原材料及び貯蔵品	592	608
その他	425	463
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	12,859	12,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,819	2,784
機械装置及び運搬具（純額）	1,558	1,520
土地	15,814	15,808
その他（純額）	301	295
有形固定資産合計	20,494	20,409
無形固定資産	250	248
投資その他の資産		
投資有価証券	1,826	1,749
その他	529	564
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,351	2,308
固定資産合計	23,096	22,967
資産合計	35,955	35,624

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,177	6,001
短期借入金	3,801	3,959
未払法人税等	145	85
賞与引当金	246	115
役員賞与引当金	13	3
その他	849	949
流動負債合計	11,234	11,114
固定負債		
長期借入金	2,297	2,239
再評価に係る繰延税金負債	3,915	3,915
役員退職慰労引当金	6	6
退職給付に係る負債	1,313	1,336
その他	730	744
固定負債合計	8,263	8,241
負債合計	19,497	19,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	4,852	4,762
自己株式	△3	△3
株主資本合計	7,689	7,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	73
土地再評価差額金	7,924	7,924
為替換算調整勘定	59	△1
退職給付に係る調整累計額	29	29
その他の包括利益累計額合計	8,114	8,025
非支配株主持分	654	643
純資産合計	16,458	16,268
負債純資産合計	35,955	35,624

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	5,497	5,109
売上原価	4,405	4,029
売上総利益	1,092	1,080
販売費及び一般管理費		
発送費	147	138
広告宣伝費及び販売促進費	28	22
従業員給料及び手当	252	257
賞与引当金繰入額	45	50
退職給付費用	20	18
減価償却費	41	32
試験研究費	52	62
その他	364	371
販売費及び一般管理費合計	952	954
営業利益	139	126
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	9	14
受取賃貸料	5	8
持分法による投資利益	58	62
その他	5	6
営業外収益合計	80	91
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	—	43
その他	1	1
営業外費用合計	5	48
経常利益	214	169
特別損失		
固定資産除却損	2	6
特別損失合計	2	6
税金等調整前四半期純利益	212	163
法人税等	104	86
四半期純利益	107	77
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	91	64
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	12

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△17
為替換算調整勘定	—	△13
退職給付に係る調整額	0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△54
その他の包括利益合計	5	△86
四半期包括利益	112	△9
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98	△23
非支配株主に係る四半期包括利益	13	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	5,093	404	5,497	5,497
セグメント利益	214	0	214	214

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	214
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	214

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	4,711	398	5,109	5,109
セグメント利益又は損失(△)	170	△0	169	169

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	169
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	169

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。